

Topics from within

AIAA Technical Committee on Communications Satellite

通総研 鈴木良昭 / 三菱電機 風神 裕

2001年10月25日から26日まで AIAA Technical Committee on Communications Satellite (TC-CS)がカナダモントリオール市の Hilton Bonaventure ホテルにて開催された。25日は通常の TC-CS 委員会、26日は ICSSC-20 の準備状況審議が行われた。(今回、テロの影響で出席できないメンバーの為に電話による参画も可能であった。但し、時差の関係で、出席者は米国人のみであった。)

10月25日：TC-CS 委員会

出席者全員の自己紹介の後、新委員として、下記4名が承認された。

- Ms. Elizabeth Klein-Lebbink : Boeing Satellite Systems
- Mr. Bruno Perrot : SES Astra
- Mr. Sastri Kota : Loral Skynet
- Mr. Shel Kulick : Composite Optics, Inc.

この結果、委員数は38名、その構成は、米国27名、カナダ4名、フランス1名、国際機構1名、日本3名、ルクセンブルグ2名である。

次に、先日行われた Vice Chairman の選挙で、Tom Butash(BAe Systems)が選ばれたことが報告。Tom Butash は2003年4月まで Vice Chairman を務め、その後05年4月まで Chairman として活躍することになる。

TC-CS の役員構成を整理すると以下の通りとなる。

TCCS Chairman – Ron Smith, Vice Chairman – Tom Butash

TCCS Secretary – Ed Elizondo

TCCS Treasurer – Denis Curtin

ICSSC General Chairs - ICSSC-20 Jack Rigley, ICSSC-21 Takashi Iida

Subcommittee Chairs -

Awards Subcommittee: Joseph Balcewicz

Publications Subcommittee: Cal Cotner

Japan Forum: Dr. Takashi Iida

Appointed Members – Thomas Brackey, Jerry Fiedziuszko

European Liaison - Michel Bousquet



JFSC の活動状況報告

各 Subcommittee から、活動状況の報告があった。Japan Forum の活動内容について、鈴木から、9月27日の第3回総会の議事結果を中心に、00年9月から01年9月までの1年間の活動内容を報告した。また、第3回総会の結果、JFSC 会長が日本電気関本相談役から三菱電機谷口社長に交替したこと、及び、JFSC Award として北爪進氏

が第一回目の荣誉に輝いたことを報告した。

ICSSC-20 の準備状況について、Jack Rigley から簡単な報告があった。(26日に詳細レビューを行うため、ここでは簡単な報告)この後、風神より、ICSSC-21 の準備状況を報告。展示の準備期間2日間を確保するため、当初予定の03年4月14日から18日の会期を1日ずらした15日から19日に変更したい旨提案、審議の結果、承認された。また、ICSSC-21 のテーマを03年4月時点での衛星通信新サービスの状況を想定して、「The Impact by Communications Satellite to Information Infrastructure」としてはどうかとの提案があり、日本側にて検討することを約束した。

TC-CS の Web Site として下記の紹介があった。

TCCS web site: www.aiaa.org/tc/cms/ (Webmaster: Ed Elizondo (SS/L))

ICSSC general web site: www.aiaa-icssc.org/ (Webmaster: Ron Smith (TRW))

ICSSC-20 web site: www.icssc2002.com/ (Webmaster: S. Race (EMC Canada))

Ron Smith が Chair に就任してから Web Site の活用が活発になり、今回の TC-CS 委員会の資料等も事前にアップロードされ、委員会での審議が非常にやり易く、且つ、活発になった。

次に、2004年開催予定の ICSSC-22 の候補地を、米国西海岸の都市から選出。Reno、

Phoenix、Monterey の 3 都市を候補とし、会場及びホテルを AIAA 本部が調査することになった。

最後に、次回 TC-CS 委員会を 1 月 1 2 日もしくは 1 4 日米国ネバダ州 Reno 市で開催することを決め、閉会。

1 0 月 2 6 日 : ICSSC-20 準備状況審議

昨日と同じ Hilton Bonaventure ホテルにて開催。出席者全員の自己紹介の後、ICSSC-20 General Chair の Jack Rigley 及び Technical Chair の Chris Hoerber の共同議長の下に進行。なお、ICSSC-20 は 2 0 0 2 年 5 月 1 2 日から 1 5 日カナダモントリオール市にて開催予定。



ICSSC-20 準備状況審議

Abstract 投稿数は当初 1 0 件程度しかなかったが、各関係者に投稿を呼び掛けた結果、現在、2 0 0 件以上集まり、更に、2 0 から 3 0 件の追加が見込まれる状況になったとの報告。国別に分けると、米国 7 4 件、欧州 8 1 件、アジア 3 1 件、カナダ 1 3 件、南米 2 件である。アジ

ア 3 1 件の内訳は日本 2 8 件、中国 1 件、タイ 1 件、インド 1 件である。論文が 2 0 0 件以上集まる見込みが出たため、3 日間の会期中でのセッション時間割も見直され、結局 1 論文当たり 3 0 分の予定を 2 5 分に短縮する方向となった。

この後、全員で、使用予定会場を視察。会議室はホテル客室の地下に設けられており、参

加者には利便が良い。展示会場は隣に併設されている大広間を使用するが、天井が低いため展示物の制約を受ける。広さから判断すると、20社程度までの展示が可能であり、展示予定者の目処が立っているとのこと。

コロキウムテーマは「Satellite Broadband Access to the World: Key Business and Technology Considerations」で、技術者だけでなく、ビジネスマンまでも対象としている。プログラムと講演者も下記の通りに決まっており、250人程度の聴講を期待しているとのこと。

(8:30-8:45) Introduction: by Mr. Bill Nations

(8:45-10:00) Business & Financial Considerations: by Mr. Frank DiBello

(10:00-11:30) Systems and Special Considerations: by Dr. David Grybos

(1:00-2:30) Communications & Networks: by Dr. Vincent Chan

(2:30-3:30) Standardization and Production: TBD (数名の候補者が検討されている)

(3:30-5:00) Panel Discussion; Moderator: by Mr. Mark Dankberg

Panelists: Astrolink, iPSTAR, SpaceWay, WildBlue, etc.

(5:00-5:15) Summary: by Mr. Bill Nations

Proceedings は CD-ROM で考えているが、Web にて配布することも可能と AIAA 本部から説明があった。Web と CD-ROM 両方を準備して予算的に大丈夫かどうか AIAA 本部が検討することになった。

来年5月に全員モントリオールにて再会することを約束して閉会。

以上